



## 1月の学校行事(1)

### 1/6 (月) 令和元年度第3学期始業式

1月6日(月)に、体育館において第3学期始業式が行われました。始業式の式辞で三木校長が話された話の一部を紹介します。

ネットで少し前に話題になった内容に触れて、生徒に考えることを促しました。

**発車ベルが鳴って走り出す子供に「走ったらあかん！その電車には乗らんで！」と叱ったお母さん。子供の「なんで？」に対して、母親はなんと言ったのでしょうか？**  
(紹介した文では、対応に震えたと・・・)

(生徒に考えることの大切さを伝える。)

授業ならみなさんに聞いてみたいところですが・・・(略)  
一番受け身になるのは 指名なしの絶対当たらない授業です。しかし、指名されなくても「常に自分が答えるつもりで考えてください。」**授業中にぼんやりしている時間はありません。考えれば、力がつくこと間違いなしです。考えることの習慣化こそ、飛躍の一步。集中力は大きな武器となります。**

(子供の「なんで？」に対する回答例)

- 「ちょっと 車掌さん 子供がこんなに一生懸命走っているのに」文脈に合っていない×
- 「車掌さん 待ってえ うちの子のるのに閉めないでえ」文脈に合っていない×
- 「どうして言うこと聞けないの。車掌さんが怒っているでしょう」うーん△
- 「走ったら いつもあぶないって言うてでしょう。」文脈に合っている○

35,000リツイート、75,000「いいね」の反響があった正解とは・・・

**「電車はな、待たせて乗るちゃうねん。待って乗るもんなんやで。」**



と説明した後、親子で車掌さんにバイバイしていた。こんな事もあるんだなあ。とつづく。なぜ、このような反響があったのでしょうか。「かけこみ乗車」について、みんなが思っていたからではないでしょうか。

正直に言います。私も乗れてほっとした後、「駆け込み乗車はおやめください」とアナウンスされて、すごく恥ずかしかった記憶があります。乗れないとドアにけりを入れる大人、悪態をつく大人、社会問題でもあります。

(北高生に身に付けて欲しい力について)  
**状況に応じて判断する柔軟な考えを北高生には身に付けて欲しい。**例えば、このお話では次のことを考えよう。

- 1 本当にあった話なのか。作り話ではないのか？ もちろん信じる素直な心を持った上で、何事も疑う心も大切
  - 2 お年寄りや体の不自由な人にも同じ対応で良いのか。バス停のシーンにおいて
  - 3 待っている、開けてくれる車掌さんは親切？ 多くの人を待たせる行為いろいろ考えてみる。
- 急いでいる人は、自分以外にもいるはずで。他者への思いをどこまで考えられるか。配慮、心遣い、気配りが大切です。  
(後略)  
充実したよい年にしてください。



### 1/16 (木) 第2学年 生物基礎 「DNA実験」出前講座

1月16日(木)の5限目に生物実験室において生物基礎「DNA実験」出前講座が行われました。当日は、かずさDNA研究所から4名の先生方を講師にお招きして、魚の白子・豚のレバー・タケノコ・アスパラガスから専門的な器具を操作し、DNAを取り出し、色々な生物がDNAを持つことを確認しました。



出前講座の様子



講師の先生が抽出したプロックリーのDNA



器具の操作練習時の様子



抽出したDNA